



昭和十四年四月十三日

仁科芳雄

財団法人 理化學研究所  
東京市本郷區駒込上富士前町卅一番地  
電話大塚自三二七一至三二七六番  
七  
×九



YHAL  
C39N01

No. /

昭和十四年 四月 十三日

湯川秀樹君

東京市本郷區駒込上富士前町卅一番地  
財団法人 理化學研究所

仁 科 芳 雄

拜啓、過日ハ御上京何、御去迄モ出来ズ失  
記致候、

扱テ後取ノ件本日長岡先生ニ面會依頼致  
候處ソレハ學術研究會議ノ方テ出セヌトハ  
無イガ、湯川ト云フ人ハ金持ケタカラ出来レハ私  
費テ行クト云フ方針ニシテ貰ッタ方が時節柄通  
リが好イ、又金持ケタカラ私費テ行ケル外ワト  
云ッテ居ル人ガアルカラ出来レハ尤様ニテ貰ヒ度イ、  
勿論大藏省関係ノ旅費持ケ出シノ許可ニ

No. 2

昭和  
年  
月  
日

就イテハ學研が盡力スルト云フ迄テシタ。先生ハ  
 此迄ハ既ニ大阪ノ方ノ人カラ聞イテ御派知ノ様デ  
 シタ。  
 右ノ御派テスガ實際私費で行ケルノデスカトウテスカ、  
 忌憚ナキ御意見見御知ラセ下サイ。何デモ學研  
 カラノ出張旅費ハ大体モ万圓外サウテス。ソレモ今  
 日デハ中々持出シノ許可が困難ト云フテス。  
 然レモ万圓デハ先日迄シタヤウナ旅行が出来ルカ  
 ドウカ不明ガト思ヒマス。  
 又コペンハーゲンノ物理ノ舎ハ恐ラク今年ハ無クイデ  
 アラウト長岡先生ハ云ツテ居ラレマシタ。  
 以上ガ大体長岡先生ノ御意見テスガ私費が困  
 難ナラハトウシテモ學研アタリテ出シテ費フ必要ガ

No. 3

昭和  
年  
月  
日

アルト思ヒマス、サワスルトスレハ来ル廿日、會議<sub>天</sub>出サ  
ナクテハナリマセンカラ、ソノ以<sub>レ</sub>前ニ決定シテ置<sub>ク</sub>必要ガ  
アリマス、  
小生自身ノ意見デハ<sub>中</sub>子<sub>子</sub>研アタリテ出スノガ至<sub>レ</sub>當<sub>ト</sub>ハ  
思ヒマスガ長岡先生ガ右ノ御意見デスカラ一<sub>レ</sub>應<sub>レ</sub>御  
考慮ノ上御知<sub>ラ</sub>セ<sub>テ</sub>頼<sub>ヒ</sub>マス

敬  
具  
ハ

YHAL  
C39N01  
~~18N009~~

拜後 貴翁外遺 討論會の最終は小生  
に河が解説をとり 討論會に接ししは、  
は先生にお話し出来ぬ一著 結構なり  
是れが世にせぬものなり 此のついで  
準備して置きます 尚前の草稿を合つた  
際、討論會の座長をやらせたいけれど、これ  
固くお断りしつた して座長は、  
にやして置くつもりです  
是れ 取柄の河に送ります

2022.10.22





